

より良い暮らしの実現

人が行き交い、経済が賑わう、
安全で楽しいまちづくり！



観光

経済活動

まちづくり

通学が便利になり、
より充実した学生生活に！



通学

進路選択

部活

年をとっても、
いきいきと暮らせる！



高齢者

介護

生きがい

暮らしや経済活動を支える基盤（土台）



地域交通の維持・充実

～「自家用車以外の移動の選択肢がある社会」の構築～



「滋賀地域交通計画」に基づく令和8年度の取組

取組方針

- 「より良い暮らし」の実現に向けて、まちづくりや観光、教育、福祉等の様々な分野において、県民の皆様の暮らしに寄り添い、実感いただける形で、地域交通の充実と利便性の向上を図る。
- これらの成果や各主体の最新情報を広く発信するとともに、県民等との対話を通じて、「地域交通が充実した暮らし・まちづくり」のイメージを共有し、さらなる充実へ取り組む機運を醸成する。
- 施策実施のための財源のあり方についても引き続き、丁寧に議論を積み重ねる。

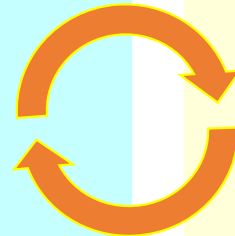
取組内容

(令和8年度:制度設計フェーズ)

※取組詳細については、次ページに記載

- **まちづくり** ・びわこ文化公園都市エリアの活性化
・草津線沿線まちづくりの取組 など
- **観光** ・自動運転バスの実証運行
・二次交通の充実(シェアモビリティ等) など
- **教育、福祉等** ・通学定期券補助、学生向け運賃支援
・バス・デマンド交通の充実 など

成果共有



意見反映

対話

県民との対話

- ・タウンミーティング(県内市町)
- ・県民フォーラム

企業との対話

(経済団体との意見交換 等)

市町・交通事業者との対話

(活性化協議会幹事会等)

「交通」を基盤として、まちづくり等の取組を総合的に強化・推進

※以下の記載内容には、
県以外（市町や交通事業者等）
の施策も含む

まちづくり

- 沿線・広域連携まちづくり
- びわこ文化公園都市の活性化
- CO2ネットゼロ・渋滞解消 など

観光

- JRデスティネーションキャンペーン
- 周遊観光の促進
- シガリズム・ピワイチ など

教育・福祉・健康

- 学生の通学・進路選択
- 高齢者の通院・買い物のための移動
- 徒歩・自転車・公共交通で健康増進 など

R8年秋頃予定



<取組例>

- ・びわこ文化公園都市エリア横繋ぎ**バスの実証運行**
- ・まちづくり（駅を中心としたまちづくり、沿線連携のまちづくり）
- ・リニア新駅を見据えた三重県との流動促進検討
- ・バスの充実（連節バス導入等）による混雑・渋滞解消

<取組例>

- ・ひこにゃん**自動運転バス実証運行**
- ・鉄道版ピワイチパスによる周遊促進
- ・二次交通の充実
（シェアモビリティ、EVレンタカー、バス、タクシー等）
- ・IC決済・交通モード間の乗継向上等

<取組例>

- ・通学定期券補助、学生向け運賃支援
- ・バス・デマンド交通の充実
- ・公共ライドシェア、ボランティア輸送等の拡大
- ・ユニバーサルデザインタクシー（UD車両）の導入支援
- ・グリーンシェアモビリティを活用した送迎支援実証

地域交通の充実



※バス・デマンド交通の充実

データ利活用・DX

- 人流データ、交通利用者データの活用
- エリアデータ連携基盤の構築 など

県民、市町、企業、交通事業者との対話

最近の交通関係トピック(R8年1月～4月)



今年に入ってから、すでに県内各地で、県・市町・交通・観光事業者等により、地域交通の充実に向けた取組が進んでいます。

福祉 教育 データ

彦根での自動運転実証運行

(時期: R8.1～2、主体: 滋賀県、他)

JR彦根駅と彦根城を結ぶお城通りで、自動運転バスの実証運行を実施。今後さらに深刻化が懸念されるバス運転士不足への対策として期待される。



観光 データ

シェア電動KB実証導入

(時期: R8.1～、主体: 滋賀県、滋賀ダイハツ販売)

びわこ文化公園都市内の周遊交通手段として、滋賀ダイハツ販売のシェア電動キックボードの試験導入を実施。



観光 まち



甲賀流ライドシェア実証運行

(時期: R8.1～、主体: 甲賀市、他)

デマンド交通である「チョインソコ」を従来の土山地域に加えて、甲賀地域にも拡大して実証運行を開始し、地域の足の確保に向けた取組を推進。

教育 まち



南草津立命線で連節バス追加導入

(時期: R8.4～、主体: 近江鉄道)

南草津駅～立命館大学間バス路線に連節バス2編成を追加導入。輸送力の増強により、駅・車内の混雑の緩和が実現し、大学生の通学もより便利に。

観光 まち



草津線沿線 春の東海道酒蔵めぐり

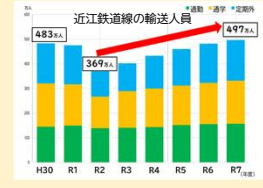
(時期: R8.3、主体: 湖南市観光協会等)

草津線・近江鉄道線の沿線エリアで、酒蔵巡りイベントを開催。駅から酒蔵を結ぶ巡回バスの運行により、エリア内の周遊観光を促進。

観光 教育 まち データ

近江鉄道

○乗車人員、コロナ禍前水準に回復
○ICOCA決済導入、こどもICOCA、1乗車10円
(時期: R8.3～)



- ・R7年度乗車人員は、前年度を上回る実績となり、コロナ禍前の水準に回復
- ・キャッシュレス決済に対応するため、ICOCA決済を導入。
- ・「こどもICOCA」の利用により、1乗車につき10円で乗車可能。
- 新たなサービスにより利便性向上。



大津市シェアサイクルのリニューアル

(時期: R8.4～、主体: 大津市、ChariChari)

県内最大規模のシェアモビリティサービスとして、従来のkotobikeをリブランドし、新たにChariChariとしてスタート。公共交通を補完する移動手段として期待される。

観光 まち

まち データ



近江八幡市「バス予約」

(時期: R8.3～、主体: 近江八幡市)

近江八幡市あかこんバスで、バスロケーションシステム「バス予約」を導入。アプリからバスの走行位置を確認でき、バス待ちの不安を解消。主要バス停ではスマートバス停も導入され、さらに便利に。

教育 データ

竜王町 「ICOCAで乗って!」

(時期: R8.1～、主体: 竜王町)

MAB (Mobility Auth Bridge) を活用し、ICOCAとマイナンバーを連携することで、高校生世代を対象に、路線バスやチョインソコの運賃割引を行う「ICOCAで乗って!」を開始。



観光 データ 広域

「関西広域リージョン連携ビジョン」策定

(時期: R8.2、主体: 関西広域連合)

広域リージョンで取り組む具体的なプロジェクトとして、「広域型MaaS『KANSAI MaaS』」の活用によるリージョン内外の移動需要の促進が位置付け。
・「KANSAI MaaS」を活用したシームレスな交通サービス
・「KANSAI MaaS」の普及拡大のための営業・広域施策 4

南草津駅の駅前広場改良

(時期: R8.3供用開始、主体: 草津市)

南草津駅で、雨天時のバス待ち環境の改善を図るため、雨除けシェルターの拡張工事を実施。通学する学生の満足度の向上、駅前混雑の緩和が期待される。



まち